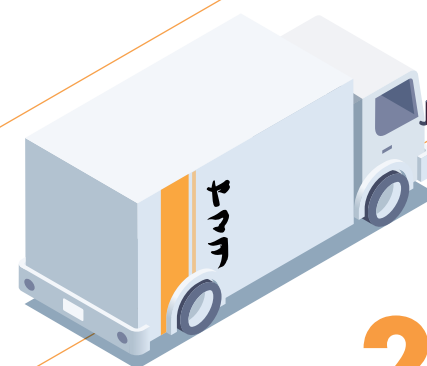


YAMAWO 10 YEARS DESIGN NOTE | B5 | 257×182mm 5mm section paper

YAMAWO 10 YEARS DESIGN NOTE



2024・2034



YAMAWO 10 YEARS DESIGN NOTE

B5 257×182mm 5mm section paper

株式会社 ヤマヲ

これからの10年を どう歩んでいくのか？

————— このノートの趣旨 —————

現代は不確実性の時代と言われ、
将来の予測が困難です。

しかし、私たちヤマヲは、
いつの時代も社会からの要望に応えることで成長し、
歴史を刻んできました。

では、予測が困難なこの時代をどのように歩んでいくのか？
と考えた時、私たちはこの10年を、
計画ではなくデザインという言葉で表現しようと考えました。

何が起きるかわからない未来に対して、
計画を重視しすぎるあまり変化の対応に遅れるよりも、
全体像は描きつつも、細かなさじ加減は、
その時々で追加したり変更したりしながら、これからの10年を描いていきます。

YAMAWO 10 YEARS DESIGN CONCEPT

Change before you have to.

変革に迫られる前に、自らが変わる



ヤマヲ10年デザインコンセプト

これまで

時代の要求に応える企業から、

1945年からの戦後復興。

1955年からの高度経済成長。

1973年のオイルショック。そして、バブルの崩壊からの失われた30年。

ヤマヲはその時々々の社会からの要望に応じてきました。

そしてこれからは、超高齢化と急激な人口減少が同時に起きる時代です。

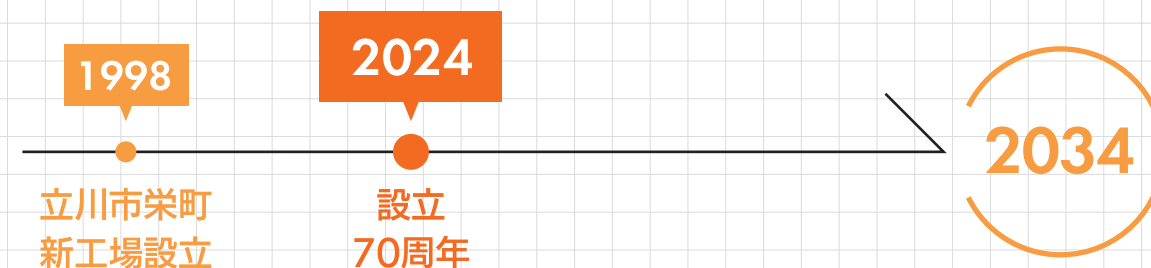
省人化のためのテクノロジーが発達し、グローバル化も急速に進みます。

DX、AI、IoTなどの技術の急速な進化。

経済の発展だけでなく社会性が求められる時代。

これからの10年を私たちは社会性と経済性の両立を実現し、

「変革に迫られる前に、自ら先駆けて変革し、進化する企業」をテーマに進みます。



これから

自ら先駆けて変革する企業へ

Before

時代の要求に応える 食と命のインフラ企業として

社会背景と共に歩んできたヤマワは、食糧の安定供給からはじまり、食文化の変化にいち早く対応。徹底した品質管理の利便性を追求し、進化してきました。

戦時、戦後の食糧難に 食糧の安定供給で応える

- ▼ 1942年（昭和17年）
乾麺の製造販売を目的として「ヤマワ岡部商店」
として創業
- ▼ 1947年（昭和22年）
戦後の食料需給改善施策の一環として政府の
製麺委託工場の指定を受ける
- ▼ 1948年（昭和23年）
ヤマワ食品有限会社設立。食糧不足の時代に食を供給



高度経済成長、人口増加に 学校給食、外食産業に進出

- ▼ 1954年（昭和29年）
有限会社ヤマワ設立
- ▼ 1974年（昭和49年）
株式会社ヤマワに組織変更。乾麺主体から生麺、ゆで麺の製造を主体に
- ▼ 1982年（昭和57年）
戦後、子供の人口増加に伴い学校給食に参入
外食産業の拡大に伴い、うどん処ヤマワを立川駅ビルに出店



核家族化、個食化の時代に 大量製造の実現、利便性の追求、徹底した品質管理

- ▼ 1993年（平成5年）
コンビニエンスストア「ファミリーマート」との取引開始
- ▼ 1998年（平成10年）
立川市栄町に HACCP 対応の新工場設立
- ▼ 2001年（平成13年） ISO9002 認証取得
- ▼ 2003年（平成15年） ISO9001 / HACCP 認証取得
- ▼ 2005年（平成17年） ISO22000 認証取得（日本の食品業界初）
- ▼ 2011年（平成23年） FSSC22000 認証取得



予測が困難な不確実性の時代

- ▼ 2020年（令和2年）～ SDGs、社会課題への取り組み

予測が困難な不確実性の時代 これからの日本に起こること

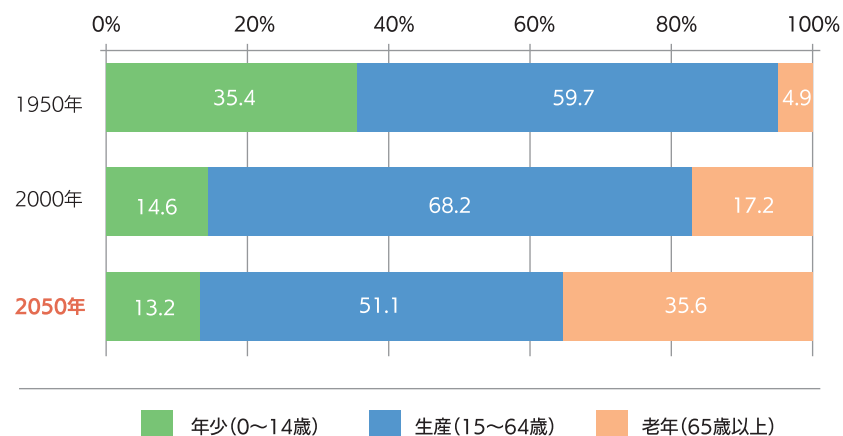
超少子高齢化による人口構造の変化や人口減少は、私たちがかつて経験のしたことのない社会構造です。

大きく減少する労働人口を補うための技術進歩は、私たちの生活を大きく変化させると予想されますが、どのような社会になるのかは予測が困難です。

超少子高齢化による 生産年齢と言われる働き手の減少

ヤマワの創業期である1950年前後、全体の60%あった生産年齢と呼ばれる労働人口は、2050年には50%に減少するとされています。

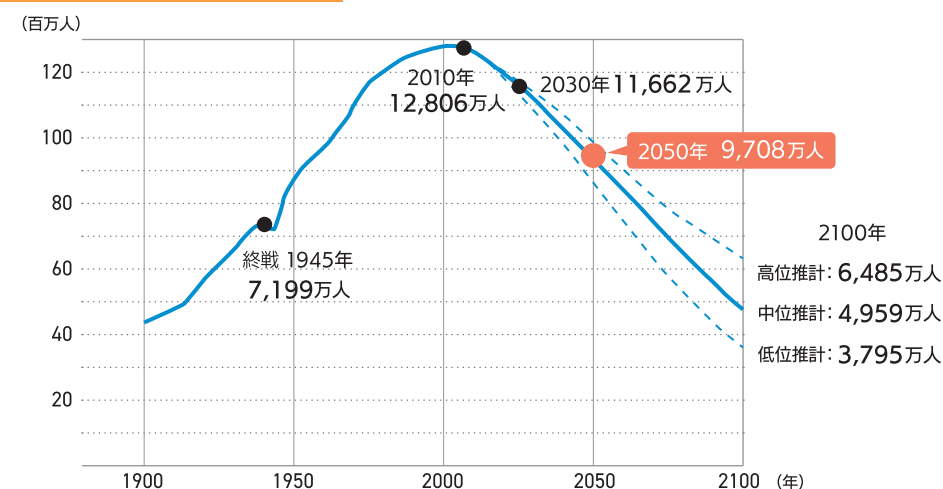
日本の人口の年齢構成変化



急激な人口減少

終戦時の7,200万人から2010年に1億2000万超まで増えた人口は、2050年には1億人を下回ると予想されています。

日本の将来推計人口



DX、IoT、AI 急速な技術進化

労働人口の減少に伴い、省労働力を目的として、インターネットやデジタル活用、人工知能(AI)などが普及し、急速な技術進化、社会、生活様式は大きく変わります。



After ヤマヲの 10 YEARS DESIGN 3つのターゲット

日本ましては人類にとっても未体験な社会背景は、これまでのような社会からの要望に応え続ける企業のままでは遅いと考えています。
そこで、これからの10年を「デザイン」という言葉でより柔軟に、スピーディーに取り組んでいきます。
国内に向けて、海外に向けて、そして私たちの職場を、時代に要求される前に、どのように変革し、これからの10年を進んでいくのかを示します。



国内 Domestic Design

食と命のインフラ企業

利便性や保存性というこれまでの取組みから、さらに美味しさ、環境に配慮した食品づくりにチャレンジしていきます。

チルド



冷凍



海外 Abroad Design

日本の「食」の基準を世界へ

働いていただいているパートナーの母国へ、日本の食品製造における技術や衛生管理、働き方を伝え、日本の食、文化、働き方の懸け橋になります。

パートナーの
母国に貢献



衛生管理・
製造技術を
世界へ



職場 Workplace Design

幸福度の高い多文化共生企業

ワークライフバランスのとれた職場、国籍問わず頑張った人が報われる制度を実現し、精神面、肉体面両方の充実を実現し、大切な人や自身の子供に入社を勧められる企業になります。

多文化共生

女性活躍

健康経営

DE&I

※DE&I・・・ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン 多様性でありながら公平で、かついかなる属性も排除しない包摂性を含んだ考え方です。



国内

Domestic Design

食と命の インフラ企業

ヤマワは、「食」という「命」に関わる商品の提供を、
変化しながらその時々々の社会からの要望に応じてきました。

ますます、変化の激しいこれからの時代に、
食と命のインフラ企業へと変化していきます。

これからの日本に起こること

これまで、ヤマワは創業当時より戦後の食糧難に応え、高度経済成長による子供の増加に対応し、
内食、外食、中食産業の発展に伴って商品提供をしてきました。

「食」の提供は、「命」をつなぐ事業

ヤマワのこれまでの「食」の提供は、「命」をつなぐ事業であったと思います。

そして、今後、起こりうる社会背景に、食と命のインフラ企業として対応すべき問題は、
過疎地に住む高齢者による買い物難民の増加、増える自然災害に備えた商品供給体制をつくることです。



買い物難民
高齢者
(過疎地)



災害時の
商品供給



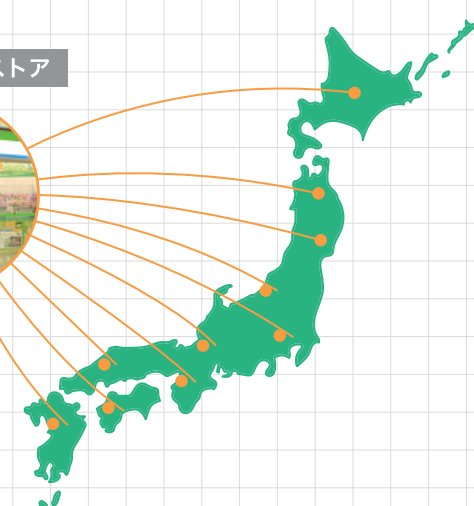
お取引先様と共に、
社会になくてもならないインフラ企業に

ヤマワ

利便性の追求

保存性の高い商品

コンビニエンスストア



今や社会になくてもならないインフラとなっている
コンビニエンスストアを通じ、利便性を追求した商品、
より保存性の高い商品を提供し、「命をつなぐ食の安定供給」に
欠かせない企業となります。

利便性の追求、保存性を超えた 美味しさ、健康、環境問題に対応

より進化した「食と命のインフラ企業」として、以下の温度帯での商品開発、

した商品へのチャレンジ

技術開発を行っていきます。

チルド 10℃以下

より進化した商品開発(調理麺・スナック麺・惣菜等)



EVOLUTION!

- 新しい食べ方・消費期限を延長した高付加価値商品の開発
- 安心安全が担保された添加物フリーへのチャレンジ
- ゼラチンレススープの充実でさらに美味しさを追求
- 健康増進商品(栄養価、栄養素の高い)多文化融合商品の開発

冷凍 -15℃以下

技術研究と新商品の開発



NEW CHALLENGE!

- 冷凍商品・冷凍技術設備関係のMR・調査研究
- 海外市場への輸出展開を視野に

冷凍分野への
進出で実現

消費期限の
大幅延長

美味しさ+
環境問題に
対応

市場拡大

海外
Abroad Design

日本の「食」 の基準を世界へ

安心、安全が徹底された日本の衛生管理や食品製造技術。
魅力ある日本の「食」と「食文化」
2024年、外国人の従業員比率、約75%のヤマワは、
外国人パートナーの母国への貢献と日本語教育を行い、
日本の「食」の基準を世界へ広めます。

一期一会 Once in a lifetime encounters and opportunities

これまでも、これからも欠かせない彼らの母国への貢献と、日本の誇れる食や食文化、衛生管理や製造技術を世界に広めるために、日本の「食」を世界へ発信する企業になります。

パートナーの
母国への貢献

日本の食文化、
衛生管理、製造技術
を世界に広める

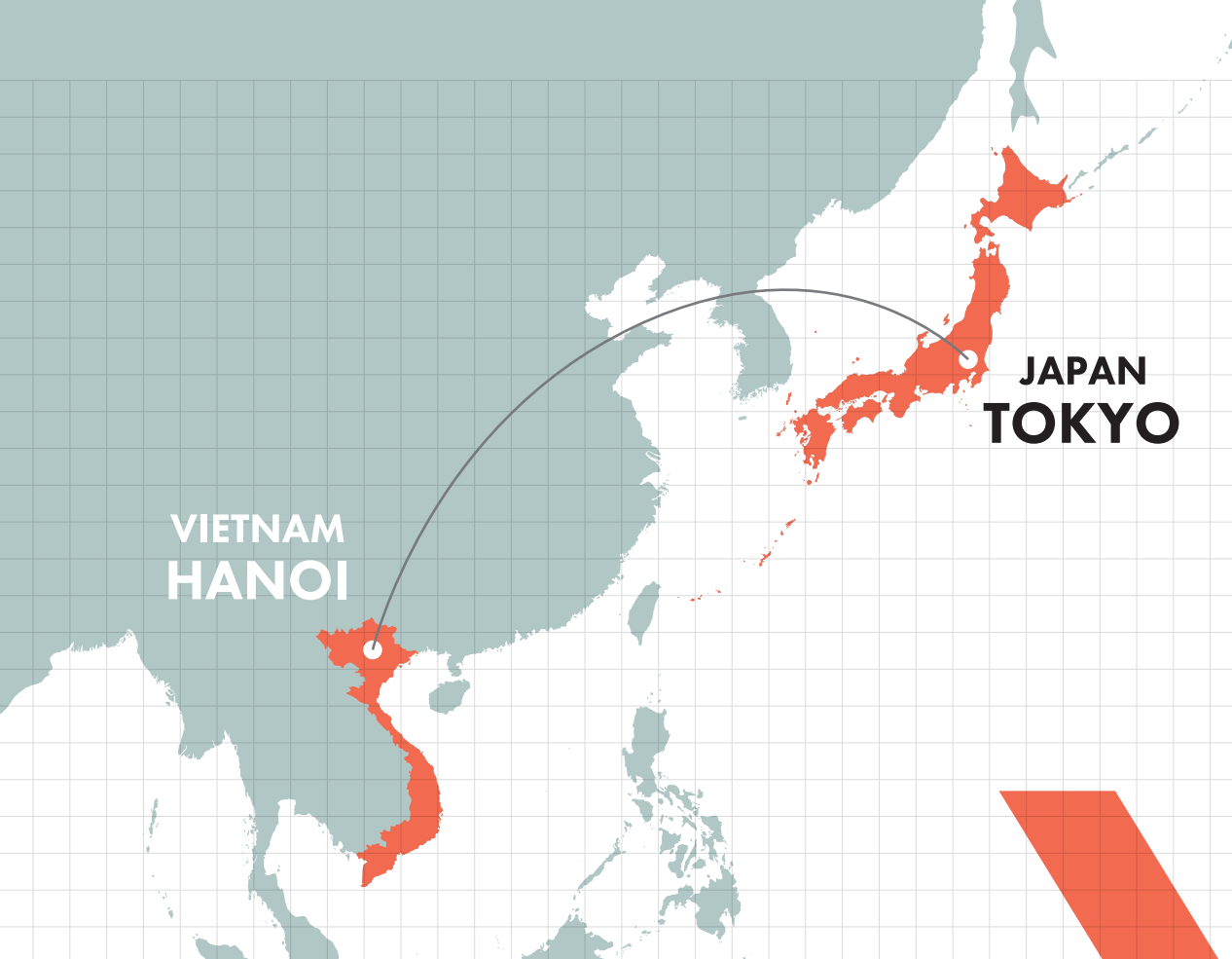
人を育成し、人を通じて、世界とつながる

日本で学ぶ技能実習生、特定技能生が自国の経済発展を担う人材として活躍し、
日本の食、文化、働き方の懸け橋となることで世界とつながっていきます。

日本語を学び、
日本文化を学ぶ

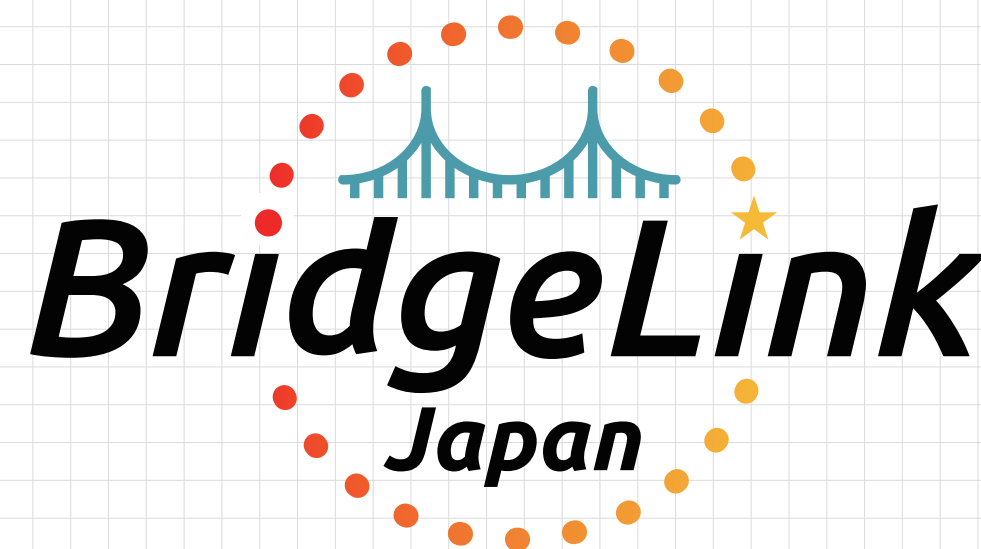
衛生管理技術、
食品製造技術を習得する

一期一会で出会ったパートナーが
母国の経済発展を担う
人材になるとともに
世界と日本の懸け橋となる



日本の食、文化、働き方の 懸け橋に

ヤマヲは、日本の飲食料品製造に関わる技術を通じて
日本の食文化を世界へ広めるとともに、
働き方も伝えていきます。



2024年3月

株式会社 BridgeLink Japan 設立



2024年6月

有限会社 BridgeLink Japan Hanoi 設立予定

飲食料品製造業に従事できる、衛生管理スキルを持った人材を育成するための法人を日本で
立ち上げ、その後、ベトナムハノイにも合併会社を設立。
現地に研修施設をつくり、来日前に衛生管理教育を行える設備を整えるとともに、人を通じて
より日本の食文化を広める体制を整えていきます。

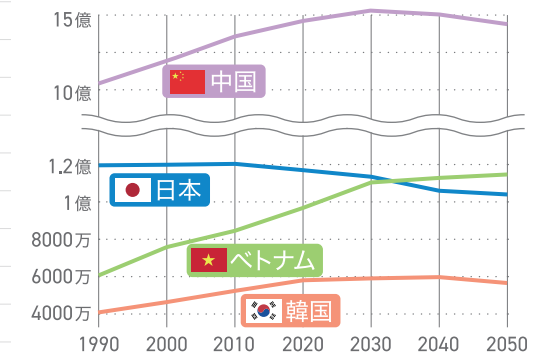
ヤマヲで働いたパートナーによって、

日本の「食」の基準を世界へ



超少子高齢化 人口減少に備える

日本は2010年をピークに人口が減少。2030年を過ぎると中国の人口が減少。その後、韓国も減少しはじめ、アジア全体では、2040年から人口が急激に減少します。
アジアでの労働力確保の競争はより一層激しくなります。



になるために

人口減少により、労働力確保のための競争は激化します。
必要な労働力を確保するために、選ばれる国、選ばれる地域、選ばれる企業になる必要があります。



ヤマワは、選ばれる企業になるために
従業員幸福度の高い多文化共生企業を目指します。
「Work in life」=「仕事は人生の一部である」という考えのもと
自己実現と会社の成長が同時に達成できる企業になります。

大切な人、自身の子供にも入社を勧めたいと思える企業へ

多文化共生企業でありながら、働くことが自己実現につながる企業、従業員が誇りを持って働ける企業になるための ④ つの取り組み

人材育成による国際貢献



- ・育成就労制度
- ・特定技能制度2号

技能実習制度から育成就労制度への変更により、制度から「国際貢献」という目的がなくなります。しかしながら、ヤマヲは、人材確保や人材育成だけでなく、「国際貢献」という目的も併せ持ち人材育成に取り組めます。

発信を強化

多文化共生

女性活躍

健康経営



国際的な企業としてのロールモデルを確立し、従業員が誇りに思える企業として、社内外への取り組みの発信を強化します。

従業員の幸福を追求



従業員幸福度を測るエンゲージメント調査を実施することで、現場の声を吸い上げ、従業員幸福度を測るとともに、働きがいのある職場を追求していきます。

働くことが自己実現に



ヤマヲで働くこと、身に付ける知識や技術が、従業員ひとりひとりの自己実現となり、自己目標を達成することで会社の成長へと繋がる人事考課制度を設計し、実施します。

ヤマヲのこれから10年



 **PCDX**
=People Centric DX

人に優しく、人を活かす、 デジタルトランスフォーメーションの導入

これからのヤマヲのデザインすべてに必要なのが
デジタルトランスフォーメーションの導入です。
仕事の効率化、省人化、リスクの軽減、グローバル、すべてにDXは必要です。
そして、ヤマヲではこのDXの導入を、あくまで人中心の仕事のために導入し、
快適な業務、仕事の達成感を失わない導入を目指します。



AI

- ChatGPTを活用した仕事の効率化
- DALL-Eを活用した商品開発
- 受発注予測・製造計画・人員計画をAIで作成



IoT

- アームロボットによる
- 盛り付け装置
 - 自動蓋閉め装置

多文化共生企業の
ロールモデルとして
日本の食品製造と、
日本の働き方を
世界に広めるインフラ企業へ

YAMAWO 10 YEARS DESIGN CONCEPT

**Change
before you
have to.**

私たちヤマワは、これからの10年、
変革に迫られる前に、自ら変わる

MY 10 YEARS DESIGN NOTE

このページは、働く皆さんそれぞれの自己実現のためのページです。
これからの10年のヤマワのデザインは、皆さんひとりひとりの自己実現によってカタチになります。

これから10年の私のライフデザイン（10年後どんな姿でいたいか）

私が実現したいこと	仕事での成長
2024 年齢 () 歳	
2025 年齢 () 歳	
2026 年齢 () 歳	
2027 年齢 () 歳	
2028 年齢 () 歳	

私が実現したいこと	仕事での成長
2029 年齢 () 歳	
2030 年齢 () 歳	
2031 年齢 () 歳	
2032 年齢 () 歳	
2033 年齢 () 歳	
2034 年齢 () 歳	
MEMO	

一度きりの人生 限られた命をどう使うか

——— あとがき ———

創立 70 年の歴史を振り返り、
改めて、これまでのヤマヲの長所を活かし、これから先の 10 年のヤマヲを
どのようにデザインしていくのか、想いを巡らせ考えました。

これまでのヤマヲから新たなヤマヲへ
バトンを受け取った身として、さらに先へどのように進化させていくのか。

「命を使う」と書く「使命」
「使命」を全うし続けた歴代の代表のように、覚悟を持って
常に学び、常に自己成長を続けます。

信念「志は常に高く持ち」

熱意「何事にも本気で取り組み」

継続「チャレンジし続ける」

そして「謙虚さ」を持ち、「感性」高く、行動していきます。

新たなヤマヲをみんなで創っていきましょう。

2024年6月

株式会社 ヤマヲ 

代表取締役社長 岡部 栄一